

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1290200318		
法人名	株式会社 日本ライフデザイン		
事業所名	グループホーム花と幸せ家族		
所在地	千葉県千葉市花見川区千種町154-5		
自己評価作成日	令和5年3月15日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kai gokensaku.jp/12/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 日本ビジネスシステム		
所在地	市川市富浜3-8-8		
訪問調査日	令和5年3月24日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

閑静な住宅街に施設があります。施設内には広い庭があり、梅の木や柿の木があり季節を感じるができます。梅の収穫時には梅ジュースを作ったり、柿はおやつで食べたりしています。庭にでてBBQをしたりお花植えでは土を触ることもでき、外の空気にふれ日光浴もできることです。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「グループホーム花と幸せ家族」は、広い庭があり、散歩・お茶のみ・ひなたぼっこ・ガーデニング・バーベキュー等、入居者にとって居心地が良く、心身の活力を引き出すことが出来る場所となっている。施設内はバリアフリーで、十分な介助スペースが確保されていると共に、花をテーマにした季節事の飾り付けや、入居者による作品・行事や外出時の写真等が掲示されており、華やかな雰囲気作りがなされている。また、エレベーターが設置されており、身体状況に応じた生活環境が整備されている。管理者は、日頃から職員の意見・提案・勤務状況等を確認していると共に、年1回、職員アンケートを行う等、意向や業務の悩み等を把握する機会を設けている。その他にも、個別目標管理シートやキャリア段位制度を採用し、職員一人ひとりの習熟度に合わせたレベルアップを目指しており、職員のやりがい等、向上心が持てる職場環境作りに努めている。職員アンケートでは、全職員が「今の仕事にやりがいを感じている」と回答している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「自らが受けたいと思う医療と福祉の創造」の理念を職員の目の届く所に掲示、共有し実践しています。	「自らが受けたいと思う医療と福祉の創造」と言う法人理念を基に、「自宅での生活が困難になった方々に共同生活の場を提供し、持っている能力に応じ、自立した日常生活を送るための生活支援をおこなう。」という運営方針を掲げている。理念・運営方針等を明文化し、施設内に掲示すると共に、ホームページに掲載する等、外部の人への周知を図っている。また、会議や内部研修、ミーティング等で理念について取り上げ、理念に基づいた支援の実践に努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩に出かけた際にはご近所の方、近隣の施設の方と挨拶などを交わし日常的な交流をおこなっています。	日頃から、近隣住民との挨拶や町内会への加入を通じて地域と積極的に交流を図る等、施設活動の理解促進を目指している。現在コロナ禍のため、外出会や地域交流等は見合わせているが、日常的な散歩や敷地内活動の充実化により、入居者の生活の活性化に繋げている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	施設の周りを散歩したり買い物に行ったり近隣の方に挨拶し理解をいただいています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	コロナ感染クラスター発生により運営推進会議を行うことができませんでした。	市職員・民生委員・家族・職員等を構成員として、年6回、運営推進会議を開催している。会議では、活動報告や意見・情報交換を行っていると共に、身体拘束排除の委員会も兼ねており、施設の理解促進及びサービスの質の向上に繋げている。今年度はコロナ禍のため、構成員に会議議事録を配布し、意見や要望等を確認していると共に、会議結果報告書としてまとめ、市に提出することで会議としての機能を果たしている。	

【千葉県】グループホーム花と幸せ家族

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	生活保護の方の入居相談について相談したり、何か分からないことがあった時は連絡し教えていただいたりしています。	市の担当者とは、日頃から業務上の相談や報告を通して、協力体制を構築していると共に、市職員の運営推進会議の参加もあり、施設の理解浸透に繋げている。また、千葉県グループホーム連絡会の定例会や市主催の管理者研修に参加し、市や同業者と共に地域の問題解決に向け取り組んでいる。現在、コロナ禍のため、直接市から指導や情報提供を受ける等、連携を深めている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	年間研修計画をたてて研修をおこなっています。身体拘束は職員も理解しケアに取り組んでいます。また、玄関や窓の施錠に関しても契約時に説明しています。	身体拘束排除における指針及びマニュアルを整備すると共に、内部研修を実施し、全職員が身体拘束排除における意義を理解している。運営推進会議時に身体拘束廃止委員会を開催しており、外部の人からの意見も参考にしながら、身体拘束の無い支援の実践に努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止については施設内、法人内研修に参加し常に意識をしてケアにあたっています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	後見人を利用している方はいます。面会に来た時にはお話を伺って情報の共有をしアドバイスをいただいたり、協力体制をとっています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書、重要事項説明書を一つ一つ説明し、都度、了解をして頂きながら契約をすすめています。不安や疑問がないか確認をしています。		

【千葉県】グループホーム花と幸せ家族

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	年1回、お客様アンケートを実施していません。電話や施設に来た際にはお話をし意見や要望などを伺って運営に反映させていません。アンケートをもとに対策や改善策を検討しています。	家族の面会時や電話連絡・運営推進会議を通して、意見や要望を確認している。また、年1回、アンケートを実施しており、入居者及び家族の要望等を確認している。挙げた意見・要望においては、会議等で周知・検討を図り、適切な対応に努めている。毎月「花幸だより」を発行しており、施設での生活や活動状況を伝える等、信頼関係構築に繋がっている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々の申し送り、会議などで意見を聞いたり、個別に声をかけ話をし意見や要望などを反映させています。	定期的に会議を開催しており、職員からの意見・提案等を確認している。また、年1回、職員アンケートを行う等、意見や提案を把握する機会を設けている。その他にも、個別目標管理シートやキャリア段位制度を採用しており、職員一人ひとりの目標に応じた研修の実施により、労働意欲の向上を図り、現場の課題解決やケアの質向上に繋がっている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個別目標管理シートやキャリア段位制度があり、個々に目標をたてています。一人一人がやりがいが持てるように努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内研修、外部研修には個々の能力、力量に合わせた内容の研修に参加しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡会に参加したり、法人内の同じサービスとの研修などに参加しています。		

【千葉県】グループホーム花と幸せ家族

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人の不安や要望などを聞き、気持ちを受け止めるようにし、お話の中から興味や関心のある事を見つけ安心できるように努力しています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご本人はもちろんご家族が困っていること不安なことを察し、施設の中で出来る事、今までの事例などがあればお話をし不安が少しでもないように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	状態、状況を把握し何が優先かを考えて家族、ご本人と相談しサービスの利用を検討しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人の楽しみ、興味のあること、出来る事、出来ないことを見極めています。必要に応じ職員が間に入っておこなうこともあります。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の要望も聞き、十分に理解したうえでご家族の協力をいただきながら一緒に支えていくように関係を築いています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	病院受診など家族対応をおこなっていません。引き続き出来ることは支援して頂きながら関係が途切れないようにしています。	希望に応じて、知人・友人・家族の面会を受け入れており、馴染みの関係継続に配慮している。現在、コロナ禍のため、家族とは玄関先や相談室での面会となっているが、家族の受診同行の機会を活用して、相互の絆を大切にしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	孤立しないように配慮しています。時には職員が間に入ってコミュニケーションが取れる様にしています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了しても困ったことがあったらいつでも相談が気軽にできるように声をかけています。		

【千葉県】グループホーム花と幸せ家族

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常の活動、会話の中から本人の思いや希望を聞き取り把握に努めています。ケアプラン作成時に参考にしています。	サービス利用に当たり、本人・家族から意向・生活歴・身体状況等を確認すると共に、医療機関や他のサービス事業所から情報提供を受ける等、より詳細な情報の把握に努めている。また、会議や連絡ノート等を活用して、全職員が常に新しい情報を共有できるよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	今までの生活状況、趣味などご本人やご家族などから出来る限り聞き取り、個別表に記載し把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	心身の状態、体調が個々に違うため、日々の変化に注意し記録などに残し把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	フロア会議などでカンファレンスをおこなっています。、状態に変化があった場合は介護職員、管理者、計画作成者と、現状にあった計画書を作成しています。	日頃から、アセスメントやコミュニケーションを通して、情報の収集及び共有に努めている。本人や家族の意向を確認した上で、会議で意見交換や検討を行い、介護計画を作成している。定期的に介護計画の評価や目標達成状況の確認を行い、必要に応じて見直しを実施する等、現状に即した介護計画作成に取り組んでいる。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別ケース記録や申し送りノートに記載し、情報の共有をしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	色々な状況に柔軟に対応できるように努力しています。		

【千葉県】グループホーム花と幸せ家族

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	施設の周りを散歩したり、庭に出た際にはお花に水をあげたり、一緒に草取りをしたり近隣の方にも理解をしていただいています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時、かかりつけ医を選択しています。24時間オンコール対応で緊急時対応をおこなっています。必要に応じてかかりつけ医からの指示で他の医療機関を受診することがあり専門医療機関との医療連携も築いています。	内科医・歯科医の往診を実施していると共に、希望のかかりつけ医への受診を支援しており、適切な医療受診を行っている。また、訪問看護を導入しており、往診時の立会いに加え、健康管理・服薬管理・医療面おける相談や対応等も行っている。必要に応じて、訪問マッサージも導入しており、入居者の身体機能の維持及び向上に繋げている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回、訪問看護師が定期訪問しています。入居者様の健康状態を確認しアドバイスを頂いています。必要に応じてかかりつけ医に報告しかかりつけ医からも指示があり連携をとっています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時には病院側からどの段階まで回復したら施設に戻れるのか、退院できるのか相談があります。ソーシャルワーカーとも常に連携を取れるようにしています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に「重度化及び看取り介護についての同意書」の説明をし同意を得ています。重度化した場合は、医師と連携し支援をおこなっています。医師がご家族に説明をしています。	契約時に終末期・重度化における施設方針を説明し、契約書を交わしている。重度化・終末期においては、本人や家族の意向を踏まえ、医師・看護師等と意見交換を行い、出来る限り希望に沿った終末期支援が行えるよう体制を整えている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時、事故発生時はマニュアルに沿って対応しています。実際に119番に連絡したり実践力をつけています。		

【千葉県】グループホーム花と幸せ家族

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年3回の消防訓練をおこなっています。BCPも作成しています。備蓄品はチェック表で管理しています。	スプリンクラー・火災報知器・自動通報装置等の消防設備を設置していると共に、災害時に備え、備蓄品も確保している。消防避難訓練を年に3回実施しており、日中や夜間を想定した訓練や消火器・通報訓練等を実施しており、災害時の対応を身に付けている。他にも、事業継続計画を作成しており、有事の時に備え、早期復旧に向けた速やかな行動と共に、定期的なチェックや見直しをする等、介護サービス継続に向け取り組んでいる。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様の立場になって考え羞恥心や尊厳を守り、声掛けをしています。写真の使用については入居者様、ご家族様に同意を得ています。	プライバシー保護や接遇に関する研修を定期的実施しており、入居者一人ひとりのプライバシーと尊厳を大切にしている。また、入職時に誓約書を交わし、個人情報保護の徹底を図っている。日常生活では、一人ひとりに合わせた言葉掛けや支援に配慮し、その人らしい生活の実現に向け取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	希望や自己決定しやすいような声掛けをしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人のペースに合わせることを大切にしています。出来る限り希望に添えるようにしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	男性の方は電気髭剃りで髭剃りを行い、女性の方には化粧をしたり髪を整えたり支援しています。		

【千葉県】グループホーム花と幸せ家族

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	1日3食の食材は業者の物を使っています。おやつ作りやイベントの時などは一緒に調理、盛り付けをしています。	入居者の希望や能力に応じて、食事の準備から後片付けまで職員と協働で行っている。食材や献立は委託業者に依頼しており、栄養バランス・嚥下機能等に配慮した食事提供がなされている。現在、コロナ禍のため、外食会は中止しているが、定期的に行事食や手作りおやつ等を企画・実施しており、食に対する様々な楽しみを提供している。他に、委託業者発行の「にこ楽通信」も食に対する関心を引き出している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	委託業者に依頼している為、カロリー計算がされており、バランスがとれています。体調により形態を変更するなど柔軟な対応をしています。水分量は記録して確認ができるようにしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯磨き時は見守り、介助をしています。義歯は洗浄剤に入れて保管しています。また、スポンジを使い口腔内に食べ物が残っていないか確認しきれいな状態にしています。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表で確認し個々の排泄のタイミングで声掛け、誘導をしています。リハビリパンツを使用されている方がほとんどですが、なるべくトイレでの排泄ができるように支援しています。	個々の排泄チェックリストを活用して、一人ひとりの排泄状況及びパターンを把握しており、声掛けやトイレ誘導にて排泄の自立に向けた支援を行っている。また、乳製品の摂取、運動やマッサージの実施により、定期的な排便を促している。必要時には、医師や看護師に随時相談をしながら適切な排便コントロールを行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェック表で確認しています。個々の排便のペースを把握し水分を多く取るように促したり、訪問医や訪問看護、薬剤師に相談し指導を受けています。		

【千葉県】グループホーム花と幸せ家族

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	2日間に1回のペースで入浴をしている方がほとんどです。声掛けをした際に拒否されることがありますが、再度、ご本人よりお風呂には入れますか？と声をかけてくれます。個々のタイミングを大切にしています。	入居者の体調や希望に応じて、柔軟に対応しながら適切な入浴機会を確保している。状況に応じて、シャワー浴、清拭、足浴も実施しており、入居者の清潔保持に努めている。また、季節の果実や草花・入浴剤を活用し、くつろいだ気分で入浴できるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室に行かれ休まれたりすることがありますが、長時間にならないように声掛けをしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤師よりおくすりの情報を頂き、常に確認できるようにしています。状態に変化があった場合は、訪問医や薬剤師に報告、相談しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の出来る事、出来ないことを見極めて提供しています。出来ることは日々の日課としておこなっています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	施設の周りを散歩したり、近くのスーパーまで買い物に行ったりしています。また、区役所に行く用事があった際は、ドライブをかねて行っています。	日頃から、散歩や買物等の外出を通して、戸外での楽しみを支援している。現在、コロナ禍のため、外出は控えているが、敷地内の散策・お茶のみ・ひなたぼっこ・ガーデニング・バーベキュー等に加え、買い物やドライブは継続しており、戸外での楽しみを支援している。また、室内でのレクリエーションや行事の充実化を図り、入居者の気分転換や心身の活性化に繋げている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居者様の金銭は預かっていません。お金を使った場合は施設の方で立替をしています。ご家族の方にも説明し了承を得ています。		

【千葉県】グループホーム花と幸せ家族

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	施設の方に電話があってお話をしたり、お手紙が届きます。こちらからご家族に電話して話をする機会も作っています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングは窓からの日差しが入りとても明るいです。窓から梅の木や柿の木がみることができ季節を感じることができます。台所からは料理をしていて匂いも感じられます。	施設は2階建て、各フロアはバリアフリーとなっており、トイレや浴室等は十分な介助スペースが確保されている。施設内には、花をテーマにした季節毎の飾り付け・入居者による作品・行事や外出時の写真等が掲載されており、楽しい雰囲気作りがなされている。また、エレベーターが設置されており、身体状況に応じた環境整備がなされている。リビングからは外の景色を眺める事が可能となっており、入居者が四季折々の風景を感じる事が出来る造りとなっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	お席は決めていますがお話ししやすい様に席の移動をしたりソファに座ったり思い思いで過ごせるように配慮しています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	思い出の物やご家族の写真、家具などを自由にお持ちになり自宅での生活の延長として暮らしていけるように工夫をしています。	入居者・家族の希望に応じて、馴染みの物を自由に持ち込む事が可能となっており、居心地良く生活できるよう配慮している。また、テレビ・ポータブルトイレの設置や布団を敷く事も可能となっており、生活歴に合わせた居室作りがなされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室には名前、トイレの場所、リビングの椅子には名前を書いて分かるようにしています。廊下には手すりもあり安全に移動できるようにしています。		